『探求 言語文化　改訂版』［212 桐原書店 言文212-901］教科書の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容の特色 |
| (1) 内容の選択・程度  ・学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材の用意 | ①冒頭に「〈知〉のコミュニティへ」として、言語文化への興味・関心を引き出すための「ことばの風、文化の記憶」が設定されている。  ②古文編は、説話・随筆・日記・物語・軍記・和歌・俳諧の各ジャンル、さらには翻案作品の中から、バランスよく採録されている。  ③「文法の基礎」「文法の要点」において古典文法がコンパクトにまとめられている。  ④漢文編は、故事成語・史伝・詩文・思想・日本の漢文の各ジャンルの中から、バランスよく採録されている。  ⑤「漢文の基礎」「漢文の要点」において訓読の基本事項や句形がコンパクトにまとめられている。  ⑥近代以降の文章編は、近代の小説・近代の文体・近代の詩・近代の短歌・俳句・現代の小説の各ジャンルの中から、近代以降の言葉や文化の変遷をたどることができるよう、厳選された教材がバランスよく採録されている。  ⑦各教材には、主体的・対話的で深い学びを実現するための言語活動「活動」が効果的に設定されている。 |
| (2) 構成・分量  ・学習指導を有効に進めるための構成・分量 | ①古文編・漢文編ともに、時代順や章段順にこだわらず易から難へと教材が配列されており、指導がしやすい。  ②古文編は５単元３５教材、漢文編は５単元２８教材と教材数が豊富で、教材を選択しての指導がしやすい。  ③古文編・漢文編ともに、入門単元の締めくくりとして、文章を正確に読み解く手法を解説した「解析の実際」が設けられており、正確な読解に必要となる観点を生徒に示すことができる。  ④近代以降の文章編は、｢近代の小説｣が４教材、「近代の文体」では明治期の小説８作品を部分引用、「近代の詩」が４教材、｢近代の短歌・俳句」では、短歌８首、俳句８句、「現代の小説」が１教材採録されており、近代以降の言語文化を学習するうえで十分な教材が設定されている。 |
| (3) 表記・表現および指導上の工夫  ・学習意欲を高めるための配慮  ・用語・記号の取り上げかたおよび記述のしかた  ・印刷や製本の配慮 | ①本文に付した記号や脚注番号・脚問の印が学習上効果的である。  ②本文理解を助ける写真や図版が効果的に配置されている。  ③脚注や重要語、重要句形が適宜挙げられており、学習しやすい。  ④「学習の手引き」や脚問で、本文読解に関わる重要な点が要領よく押さえられる仕様になっている。  ⑤「学習の手引き」文法/句形/構文により、本文中の文法・句形・構文事項を効果的に学習できる。  ⑥「文法の基礎」「文法の要点」「漢文の基礎」「漢文の要点」では、そこで解説されている文法・句形についてQRコードを用いて演習できるようになっており、生徒の自学自習に役立つ。  ⑦付録へのリンク表示や「時代ポインター」を示すなど、指導しやすい工夫がされている。  ⑧「古文ジャンル解説」「漢文ジャンル解説」「鳥瞰文学史」をはじめとした付録ページが充実しており、生徒の自学自習に役立つ。  ⑨ユニバーサルフォントが用いられ、視認性に優れている。 |
| (4) その他  ・(1)～(3)以外の観点  ・総合的な観点 | ①古文編、漢文編、近代以降の文章編の３部構成となり、使いやすい。  ②古文編・漢文編ともに、入門編の教材選択・配列に工夫があり、初学者への指導がしやすい。  ③古文編・漢文編の各冒頭に、古典を読む意義について解説した文章が配置されており、生徒の学習意欲を高めることができる。  ④近代以降の文章編の冒頭に、言語文化の近代について学ぶ意義を解説した文章が配置されており、生徒の学習意欲を高めることができる。  ⑤各教材に、読解の手がかりとなる着眼点を示した「本文スコープ」が設けられており、生徒の学習を後押しする工夫がされている。  ⑥古文編、漢文編には、本文から見えてくる当時の世界観について解説した「古典世界ビュー」「古典世界ワイドビュー」が掲載され、本文を理解するのに役立つ工夫がされている。  ⑦斬新な内容の「コラム１～９」が掲載され、古典への興味が深まる工夫がされている。  ⑧教科書の内容に関連したＱＲ資料を掲載し、言語文化への興味を広げる工夫がされている。  ⑨実際の授業を想定した授業展開例や評価規準例などを丁寧に示した指導書、充実したワークシートや評価問題、デジタルデータなど、指導用資料が充実している。 |